

2004年 第17回

東海村芸術祭



文化センター前 大看板



ごあいさつ
—東海村芸術祭会報の発刊にあたり—
東海村芸術祭実行委員会委員長 河野 弘

第十七回東海村芸術祭は、去
る五月十六日より三十五日間に
わたり、東海ステーション・中
央公民館・文化センター和室に
おいて、展示五部門・催事一部
門が滞りなく、盛況裏の内に閉
幕することができました。

実行委員会・各連盟会員を代
表し、村当局はじめ、文化ス
ポーツ財団・関係者の格段の御
支援を賜りましたことに対し、
厚くお礼を申し上げます。
各連盟からの報告によります
ようです。



ごあいさつ
東海村教育委員長 高橋 健彦

第十七回東海村芸術祭が盛況
の内に開催されましたこと対
し心よりお慶び申し上げます。
中央公民館では、華道連盟の
いけばな展、二階の会場では茶
道連盟のお茶席、村外からの人
も含めてどの会場も行列ができ
るほどの盛況でした。

ステーションギャラリーでは
一週間のサイクルで美術連盟、
水墨画連盟、写真連盟、書道連
盟の作品が展示されていました
が、十七回を迎えた芸術祭の歴
史を感じる、質の高い芸術作品
にため息をつくばかりです。
只、残念なことに若い人や、子
どもの姿が少なかったように感
じました。

そういう中で、私たち会員
も、ひとり一人が自己の創作活
動に一層の磨きをかけ、各連盟
がそれぞれの事業において充実
発展を期したいと存じておりま
す。

また、実行委員会・主催者と
して、各連盟の要望をできるだ
け生かし、案内のがき・ポス
ター・看板・設営場所の改良・
改善に努めておるところであり
ます。

最後になりましたが、関係各
位に対し、今後の芸術祭の発展
のために忌憚のないご批評とご
鞭撻を賜りたくお願い申し上げ
まして挨拶といたします。

学校を短い期間ミニギャラ
リーにしてはどうでしょう。学
校は、四角いコンクリートで
きた箱のようなもの、芸術の香
りが乏しい所でもあります。教
室や廊下に芸術作品を掲示し
て、感性や創造性をふるわせる
ような輝く場にしてはどうで
しょうか。きつと新鮮な感動を
覚えるでしょう。

東海村のまちづくりの理念は
人・自然・文化が響きあうまちで
す。「文化」とは、耕すことあり
ます。小中学生の頃からよいもの
に触れ、豊かな感性を育てる機
会があればと思うのですが…。
〔私の夢を書いてみました〕

芸術祭参加団体の 活動状況紹介

美術連盟

理事長 高橋 忠治

美術連盟は平成十七年に創立三十周年を迎えます。三十年間の総決算として、歴史に残るイベントをと村内外に問うべく、文化活動としての節目の展覧会を計画しております。個々には各々の大作を基に、目一杯の主張をして頂く。これに相応の会場として、茨城県天心記念五浦美術館を想定しております。

又、カラーの作品図録を発行し記念事業の一環とします。美術活動としての展覧会はアートロード展・芸術祭・文化祭を三本柱に据えております。これらの展覧会を成功に導くための制作行事を年間を通して計画しております。

勉強会の裸婦デッサン会・種々のコスチュームデッサン会、楽しいスケッチ旅行などを常時行っております。更には村内皆様の多くの方が参加できるように初心者を対象とした、絵画教室を文化スポーツ振興財団の指導を仰ぎながら、年間を通じ行っております。村内皆様の入会・参加を歓迎いたします。

申込み先

東海村美術連盟

高橋 忠治
☎ 〇一九―二八三一―一〇四

書道連盟

理事長 山口 敏一

書道連盟の活動の第一は、



東海村の書道展は自由で面白いと、近隣市町村からも、評判になりつつあります。この他昨年度から篆刻体験教室、さらに本年は拓本体験教室を予定するなど、ますます内容を充実してゆきたいと考えています。

連絡先

東海村書道連盟

山口 敏一
☎ 〇一九―二八三一―四七九

写真連盟

副理事長 河野 恵一

春の総会と研修行事です。これは毎年好評で会員外村民からも多数の参加があります。年一回の規格行事で、書道連盟創設以来今年度で二十九回。二十九年間毎年着実な活動をして来た結果と自負しています。これはまた東海村教育委員会および文化協会のご指導によるものと深く感謝する次第です。近年の行事は例えば星野富弘美術館、岡本太郎美術館研修見学旅行、あるいは川又南岳先生の講演会など参加者多数で大好評でした。

展覧会としては芸術祭、文化祭、アートロード展の三大行事には、連盟の総力をあげて盛り上げていきます。今年度も芸術祭は六月十九日終了しましたが、

東海村写真連盟は、村内の職域や地域で活躍するアマチュア写真家グループの集団で、連盟会員の親睦や写真技術の更なる習得を目標として精力的に活動しております。

一眼レフカメラに限らず、デジタルカメラやコンパクトカメラも大変進歩しており、写真を撮影することが一昔前の技術者レベルから、大衆娯楽へと変化しております。カメラ任せでそこそこの写真が安易に出来る状況の中、単なる操作技術というよりは、露出、構図などの基礎を習得し、

芸術性の高い作品を仕上げるお手伝いができると思います。さくら祭り撮影会、撮影バス旅行や、芸術祭、文化祭などの実施や、東海ステーションギャラリーや村内コミュニティセンターなどでの作品発表の機会を設けており、会員の活躍の場を広く提供しております。ベテランはもとより初心者の方も大歓迎です。この機会に写真を始めませんか？お気軽にお声掛けください。

連絡先

東海村写真連盟

河野 弘
☎ 〇一九―二八三一―二九〇六



水墨画連盟

理事長 木名瀬昭吾

第十七回東海村芸術祭を無事終了して感じたことは、年々内容も充実してきて立派に出来たこととあります。これは実行委員会、事務局その他関係者のおかげと感謝申し上げます。水墨画連盟は、墨遊会と水墨画同好会の二つの団体で構成されております。水墨画連盟も年々、会員が増えてきており、水墨画が「隠れたブーム」になってきている事を実感しております。来場者も水戸、日立、那珂町等、近隣の市町村から多数おいでになり大変盛況の内に終了できました。さて、当連盟の活動状況を紹介いたしますと、平成十六年度は、水戸県民文化センターで他会の水墨画展見学研修会、原発テラパークでの作品展、妙義山及び奥久慈スケッチ会、那須方面スケッチ会、テクノ交流館リコッチェ作品展、文化祭参加等盛り沢山の行事を行っております。又、講師を招いて勉強会を実施しております。水墨画に関心のある方は、老若男女を



問いません。一緒に描いて楽しみませんか。
連絡先
東海村水墨画連盟
木名瀬昭吾
☎ 〇二九一八三一一七〇一

茶道連盟

理事長 奥野 律子

現在茶道連盟には、知足会、原研茶道部、三彩流煎茶道、若葉会、心月会、いちえ会、清風会、富貴の会、松韻会、松風の会の十団体が所属しています。昨年一年間



の活動内容は、四月：さくらまつり野点茶会(知足会)、六月一日：芸術祭茶会(心月会)、十一月：文化祭茶会(一日清風会)、二月：富貴の会・三日(いちえ会)、十一月十五日小室かな料紙・西山の茶室「晏如庵」他視察研修、二月：講演会「炭こそ我が生命、我が暮らし」と盛り沢山でした。また、今年度五月三十日に芸術祭チャリティー茶会として三席を設け、皆様のご支援と会員一同の努力の甲斐あって、社会福祉協議会と在宅介護者の会とに多くの方々の善意をお届けすることができました。皆様方のご協力に心から感謝申し上げます。

連絡先

東海村茶道連盟

奥野 律子

☎ 〇二九一八三一一七〇一

華道連盟

理事長 高野 敏子

華道連盟はいけばな同好会より通算いたしました今年で二十八周年を迎えました。日本古来の建造物や古木や草花等、長い期間を経て今もお私達に親しまれ、愛でられているものがたくさんありますが、それらと同様に二十八年という歴史をもつ華道連盟はまさしく諸先輩によって守られ、育てられ、受け継がれてきて現在の華道連盟があると思います。

華道連盟は現在、六流派会員数一〇七名を数えますが今回は、六十三名が出品しております。作品の内容も幅広く、皆に親しまれる季節感溢れる花材を用いて、それぞれの作者が自由に個性豊かな作風に仕上げ、会場に足を運んで下さった方々が心地よいやすらぎと安心感を体感いただけたのではないかと思っております。季節の木々や花を眺め、



手にふれながら季節の風を感じ、たくさんの楽しみを与えてくれる懐の深い自然、植物を介しての華道展を今後より一層の充実にも努め、みなさまに親しんでいただけるよう会員と共に努力してまいります。連絡先

東海村華道連盟

高野 敏子

☎ 〇二九一八三一一七〇一

手づくりの芸術祭



華道連盟
高野 敏子

東海村役場前、文化センター前に設置された大看板、中央公民館入口の「華道展、茶道展」の中看板、東海駅、中央公民館に掲示された六枚のポスター。ご案内のハガキ。いけばな展示のバックカーテン、みなさまご覧になられたでしょうか。これらはみんな会員の手による「手づくり」です。私もこの手づくり芸術祭に参加してとても楽しく充実感を満喫しております。今年の看板づくりはあいにく小雨の降る日でしたが六連盟の会員の人たちが美術連盟の高橋さんのお宅に集まり、戦開開始！。枠組、塗装から始まり配色が決められてペンキが塗られる。乾くのを待ってその上を大きな筆が滑るように走っていく。目の前にいきいきとした大文字が威風堂々と現われる。私には看板に命が与えられたように見えました。一基、そして一基と出来上がっていく看板、その手際の良さにはほんとうに感心しました。

又、各連盟の特徴を見事に表現したすばらしいポスター。美術連盟会員の手によりデザインされた心なごむ図柄のご案内用ハガキ。正に芸術の祭展にふさわしい、手づくりのオリジナル。すべてが与えられた形での参加より、計画の時点



会期:5/16(木)~6/19(土)
会場1:東海STギャラリー
会場2:中央公民館

主催:東海村芸術祭実行委員会 (後援)東海村教育委員会



から参加して、みんなでワイワイ楽しく作業して準備したこの大事業。そこへ「芸術祭」という大きな柱のもとに会員の作品が次々と展示されていき、新たな東海村の文化発展を願う一人一人の力が輪になって大きなものをつくり上げていく。なんとすばらしいことでしょうか。私にとって自分たちでつくり上げたというこの「達成感、満足感」は何ものにも替え難いものです。私はこれからも微力ながらみなさんと力を合わせて芸術祭を盛り上げていきたいと思っております。

平成十六年度
東海村芸術祭実行委員会
よろしくおねがいします

二〇〇四
東海村芸術祭実行委員会役員

実行委員長 (写真連盟理事長)	河野 弘
実行委員 (美術連盟理事長)	高橋 忠治
実行委員 (書道連盟理事長)	山口 敏一
実行委員 (水墨画連盟理事長)	木名瀬昭吾
実行委員 (茶道連盟理事長)	奥野 律子
実行委員 (華道連盟理事長)	高野 敏子
監事 (会計)	鈴木ふき子
監事 (茶道連盟)	寺門喜久雄
事務局長 (水墨画連盟)	千葉 勇夫
事務局長 (書道連盟)	中沢 陽子
事務局長 (美術連盟)	新田 安江
事務局長 (華道連盟)	井坂 法子

あとがき

芸術祭の記録を後々まで残すことと、PRを目的にして芸術祭会報を発行することに致しました。今回は事務局の独断で編集いたしました。次号からは広く会員の皆様のご意見を聞きながら内容のあるものにしていきたいと考えております。

どうぞご意見、ご要望を事務局までどしどしお寄せ下さい。個人の作品も作者のことばを添えて掲載してはどうか等々、いろいろあると思います。今回、編集途中で紙面の空きを心配しているところへ偶然にも華道連盟の高野さんが原稿を届けてくれて大助かりでした。ありがとうございました。最後になりましたが、実行委員会からのお願いに対し、お忙しい中、心よく原稿を書いて下さいました高橋東海村教育長に深く感謝申し上げます。

発行責任者

東海村芸術祭実行委員長 河野 弘
編集責任者 千葉 勇夫
☎ 〇二九一一八三〇五二〇
☎ 〇二九一一八三〇五二〇